

# レンジフードファン取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

壁スイッチ仕様・連動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

## 安全上のご注意

- 取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

**注意**：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

**警告**

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
- メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板強りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること。漏電した場合、発火したり感電することがあります。

**注意**

- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること。排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すことがあります。

**注意**

- 交流100V以外では使用しないこと。火災・感電の原因となります。
- 運転中は羽根の中に指や物を入れないこと。けがをすることがあります。
- 羽根や部品の取り付けは、絶対に分解したり修理・改造をしないこと。落下によるけがをすることがあります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること。誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)。感電および故障の原因となります。使用禁止。

## 取り付け前の調査と準備

### 注意

- レンジフードファン本体の取り付け工事は十分強度のある取付け面または補強材等に確実にすること。落下によりけがをすることがあります。壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- レンジフードファン取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認すること。本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものと同梱されていますが壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。

1. 取り付け面の強度確認

……製品を支える強さが必要です。

幅	重さ
600幅	14.0kg
750幅	17.0kg
900幅	20.0kg

■板強りの場合

- 板厚が20mm以上の場合は直接板に取り付けてください。
- 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードファンを取り付けてください。

■コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2. 別売部品の準備

排気工事に伴った別売部品の準備が事前に必要です。(詳しくは別売部品の項を参照ください。)

3. 標準取付方法

本製品の標準取付方法は、レンジフード本体の上面からレンジフード本体下面まで80cmです。

※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端がレンジの真上80cm以上となっています。

4. 電源コンセント

コンセントは専用コンセントを設置してください。(交流・単相100V)コンセントは、15A 125Vをご使用ください。

別売部品	品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途
	L形ダクト (LD-15)		左右側方、後方排気の際に使用します。	防火ダンパー付きウェザーカバー (WK-15DK)		外壁に取り付け、雨の侵入を防ぎ、防火の役目もします。	丸型フード (VC-15H)		外壁に取り付け、雨の侵入を防ぎます。	深型フード (VCL-15H)		外壁に取り付け、雨の侵入を防ぎます。
	パイプフード (WK-15K)		外壁に取り付け、雨の侵入を防ぎます。	ジャバラダクト (FJ-15)		直接排気の間ダクトとして使用します。	防火ダンパー付き丸型フード (VC-15DH)		外壁に取り付け、雨の侵入を防ぎ、防火の役目もします。	防火ダンパー付き深型フード (VCL-15DH)		外壁に取り付け、雨の侵入を防ぎ、防火の役目もします。

**各部の名称**

幕板、前板、ベルマウス、ファン、スイッチ、ツマミ(ファン固定用)、取付ねじ(ベルマウス固定用)、前板固定金具、フィルター、ランプカバー

**製品寸法図**

(注) この製品は上方排気仕様となっております。  
※ 左右側方・後方排気の場合は別売のL形ダクトが必要です。幕板寸法はお買い上げられた機種におよび異なります。寸法を確認してから施工してください。

**付属品**

品名	略図	用途
木ねじ		本体の取り付けに使用します。
座付ねじ		本体の取り付けに使用します。
排気口		本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。
ソフトテープ		排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。

## 取り付けかた

### 1. 本体の準備

(1) コネクターをはずします。  
①のツメ部を押しながらか、②の方向へ引き抜きます。

●注意  
壁スイッチ仕様の機種にはコネクターはありません。

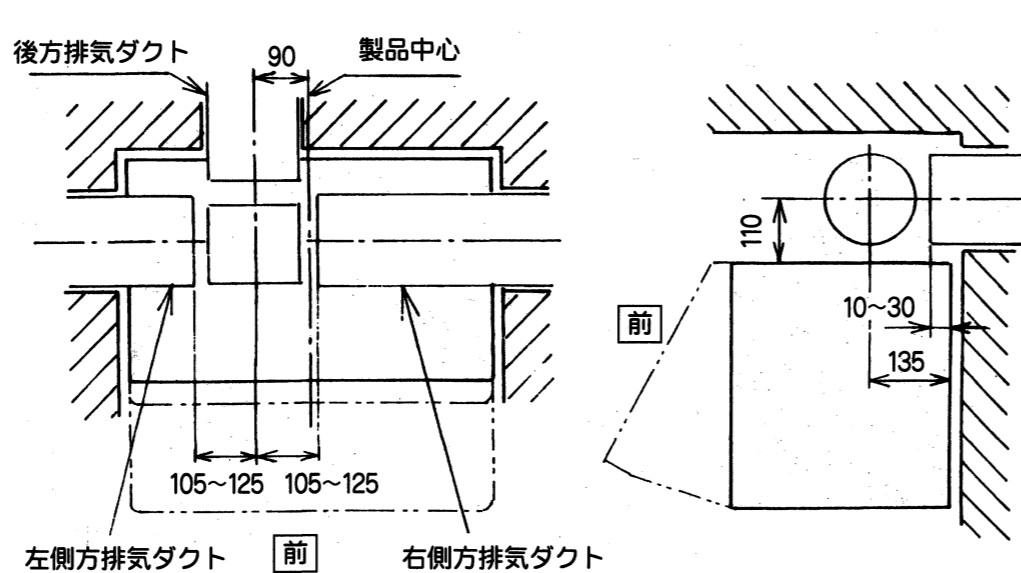
(2) 前板をはずします。  
前板固定金具を内側に回転させ(図①)、ロックを解除し、前板ツメ穴を本体ツメ部からはずし前板を両手で持ち、手前に引いてはずします。

(3) フィルターをはずします。  
フィルターのところを持って上にあげ、手前に引き抜きます。

(4) 付属品の排気口、幕板を準備します。  
輸送用パッキング部に同梱の排気口、幕板を取り出してください。

(5) 天吊り仕様の場合は、製品寸法図に記載されているφ12ハーフカットをドライバー等を当てて木ハンマー等で打ち抜いてください。

### ■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)



### 3. 排気用部品の準備

1. 本体の準備の項で取り出した排気口を準備してください。

■上方排気の場合  
排気口に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。排気口は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けしてください。(取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので外してご使用ください。)

■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)  
排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のL形ダクトに取り付けます。排気口は、L形ダクトに付属の取付ねじ4本でL形ダクトに取り付けてください。

(1) だるま穴用木ねじをねじ込む。  
だるま穴位置(左右各1か所)に木ねじ(φ4.5×45)を壁面との隙間5mmまで締め付けてください。

(2) だるま穴用木ねじに本体を引っ掛けた後、座付ねじ(φ5.1×45)で本体取付位置4か所をしっかりと締め付けてください。

●注意  
上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

(3) だるま穴用ねじ(左右各1か所)をしっかりと締め付けてください。

### 5. ダクトと排気用部品の接続

●注意  
テクスねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないようにテクスねじ使用範囲内に固定してください。

■上方排気の場合  
風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)  
(1) L形ダクトを本体上面の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けしてください。(取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。)

(2) 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

### ■組み立ては、1. 本体の準備の項と逆の順序で組み立てを行ってください。

●注意  
前板の取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けが行われないと、ご使用の際に前板が落下しけがのおそれがあります。

※ 前板を取り付ける場合(図①、図②)は1. 本体の準備の項参照

(1) 前板を両手で持ち、本体のフック(左右2か所)に引っ掛ける。

(2) 前板ツメ穴を本体ツメ部にはめこみ、すきまができないようになめに押し上げます。

(3) 前板の下の前板固定部を本体固定部にはめこみます。(図①)

(4) 前板固定金具(左右2か所)を下に回転させてロックを確認し(図②)前板を確実に固定させてください。

●注意  
コネクターを取り付ける場合は、コネクターの向きを確認して確実に元まで差し込んでください。運転できないおそれがあります。

### 8. 電気配線

**警告**

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

**注意**

- 交流100V以外では使用しないこと。火災・感電の原因となります。

●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること。誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

●コンセントは専用コンセントをご使用ください。●電源プラグをコンセントに差し込みます。

### 9. 試運転

**注意**

- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと。けがのおそれがあります。

●スイッチを押して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

●運転時、各速調の排気が正しく行われていること。

●異常な騒音、振動がないこと。

### 10. お客様への説明

●取扱説明書によって機器の取扱いを説明してください。

●取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

〔製造元〕 富士工業株式会社  
本社・営業部 〒229-0006 相模原市淵野辺2丁目9番9号  
TEL 042(768)3754 (営業部)

**警告**

- メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板強りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること。漏電した場合、発火したり感電することがあります。

**注意**

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)。感電および故障の原因となります。

**注意**

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)。感電および故障の原因となります。

(1) 製品寸法図を参照し、壁穴を開けてください。

(2) φ150のステンレスダクト、またはパイラルダクトを下図のようにレンジフードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

■上方排気の場合

■上方排気の場合  
排気口に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。排気口は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けしてください。(取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので外してご使用ください。)

■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)  
排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のL形ダクトに取り付けます。排気口は、L形ダクトに付属の取付ねじ4本でL形ダクトに取り付けてください。

●注意  
別売のL形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気の場合は、シャッターの開閉向きに注意して排気口を取り付けてください。

下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因となります。

**正しい接続例**

**誤った接続例**

### 4. 本体の取り付け

**注意**

- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にすること。落下により、けがをすることがあります。

■上方排気の場合  
風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)  
(1) L形ダクトを本体上面の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けしてください。(取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。)

(2) 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

■上方排気の場合  
風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

■側方および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)  
(1) L形ダクトを本体上面の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けしてください。(取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。)

(2) 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

### 6. 幕板の取り付け

(1) 幕板締付金具のねじ(左右各1か所)をゆるめ、幕板を前からさしこんでください。

(2) 幕板の取付位置を決め、幕板締付金具のねじを締め付けて固定してください。

### 7. 組み立て

**注意**

- 羽根や部品の取り付けは確実にすること。落下により、けがをすることがあります。